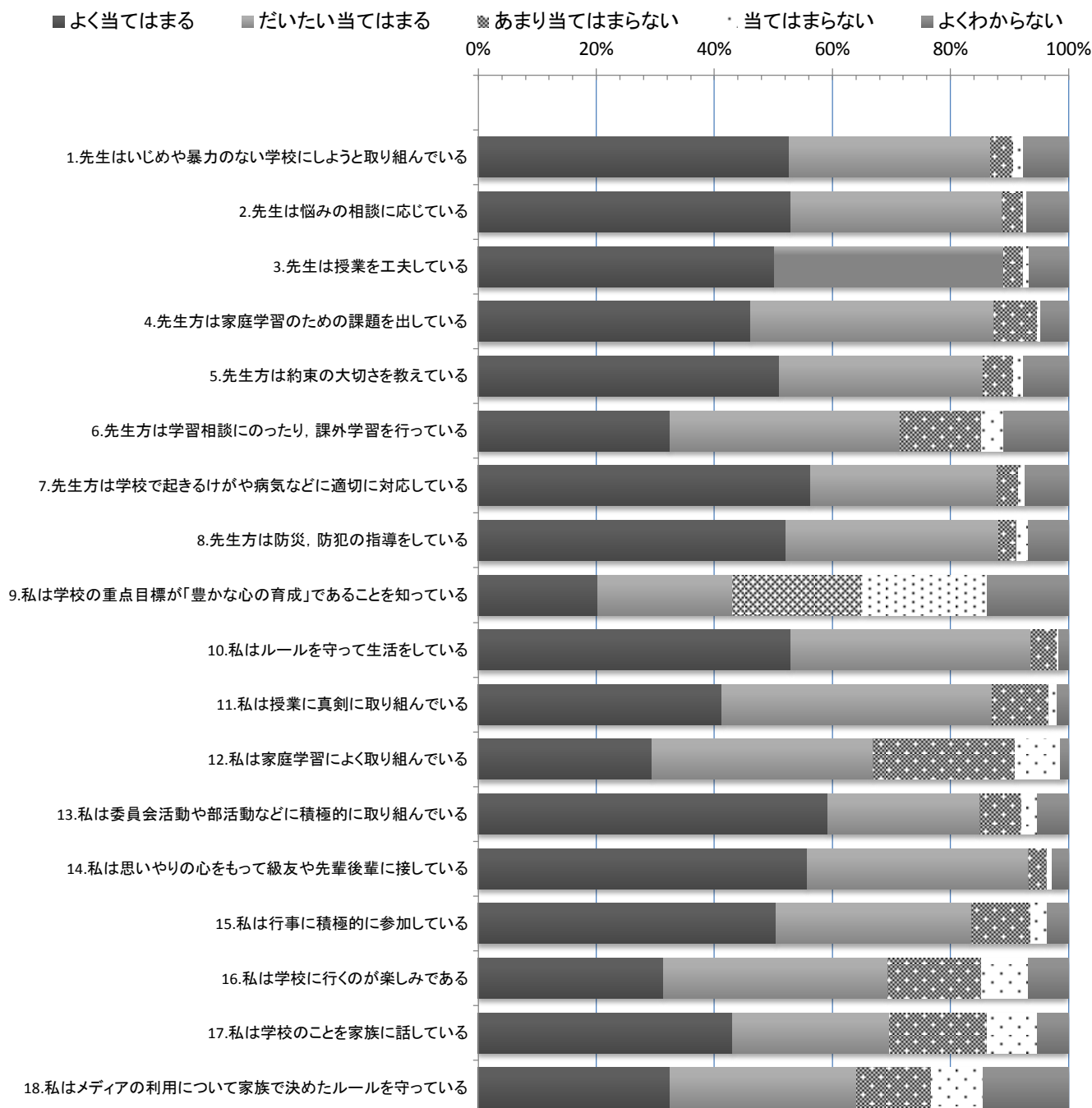


平成29年度 学校評価アンケート結果（生徒）



質問1～9番「主に学校・教職員に対する問」について

- 質問1～9について、どの項目においても、肯定的な評価をした生徒が7割以上いる。（昨年度と同じ傾向）
- 質問6から、学習相談や課外学習の持ち方について検討する必要がある。
- 質問9から、重点目標の周知の方法について検討する必要がある（昨年度と同じ傾向）。

質問10～18番「主に自分の生活に対する問」について

- 質問10、質問11から、「規範意識が高く、授業に真剣に取り組む」生徒が多いことが分かる。
- 質問12から、家庭学習に取り組ませる方法について、家庭と学校で検討する必要がある。
- 質問13、質問14、質問15から、生徒は委員会、部活動への取組、また行事への参加について積極的であり、級友に対して、思いやりをもって行動していることが分かる。
- 質問16から、生徒は、学校生活に積極的に参加し、取り組んではいるものの、「楽しさ」に繋がっていないことが分かる。学級活動、委員会活動、部活動などの諸活動において「参加（させる）」から「参画（させる）」すること等から、自己肯定感や自己有用感を高めるなど教師側の取り組ませる工夫について検討する必要がある。
- 質問17、質問18から、約7割の生徒が家族に学校のことを話し、メディアの利用について約束を守って生活していることが分かる。

◆これらの結果を、皆様からいただいたご意見を含め、今後の学校教育活動に反映させていただきます。ご協力ありがとうございました。